

市町村名		東村					
平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	東村文化交流施設機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-ウ	
担当部課名	総務財政課	事業実施(予定)年度	平成26~27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活圏の充実	
事業内容	利用者のニーズに対応するため、施設の舞台周り(舞台照明、音響設備、ホール・舞台カーテン、控え室)の改修を行い、効率良く文化行事及び研修等が行えるよう施設の機能強化を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	26年度		27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度
		(a)当初予算額	2,326	59,475	-		
	(b)予算現額	2,376	63,913	-			
	(c)増減額(b-a)	50	4,438	-			
	(d)繰越額	-	-	39,766			
	A.計(b+d)	2,376	63,913	39,766			
	B.執行済額	2,376	25,142	38,771			
	うち交付金充当額	1,900	20,113	31,017			
	次年度繰越額	-	39,766	-			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	39.3%	97.5%			
予算の状況の説明	発注時に設計額の単価入換え等に伴う4,438千円を増額した。 本工事に関しては、3回入札を試みたが、工事箇所が地域的に集中したことにより入札辞退が続き、労務者(事業者)の手配調整に不測の日数を要したため年度内の完了が困難となり、施工管理及び工事費にかかる39,766千円を28年度に繰越した。 また、設備工事にて昇降機設置について再検討した結果、必要ないと判断し、昇降機設置を取りやめ995千円の設計減額を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
	改修工事の実施	目標	(工事設計)	(改修工事の実施)			
		実績	工事設計	改修工事の完了			
		目標	()	()			
		実績					
達成状況説明	東村文化交流施設の機能強化を図る為、平成26年度に既設の劣化状況及び改修計画等の実施設計を実施し、平成27年度に施設の舞台周り(舞台照明、音響設備、控え室等)が効率良く文化行事及び研修等が行えるよう建築工事、設備工事を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	改修工事の完了	目標	(工事設計)	(工事完了)			
		実績	工事設計	工事完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	平成28年4月末で整備が完了し、翌月から供用が開始され、村民の文化芸能活動等様々なイベントの利活用が図られたことにより、琉球舞踊等の練習や発表の場として利用され、文化継承等に関する取組みが地域で親しみやすくなるようになったことが施設の年間利用者数の増加に繋がり、効果が図られた。						

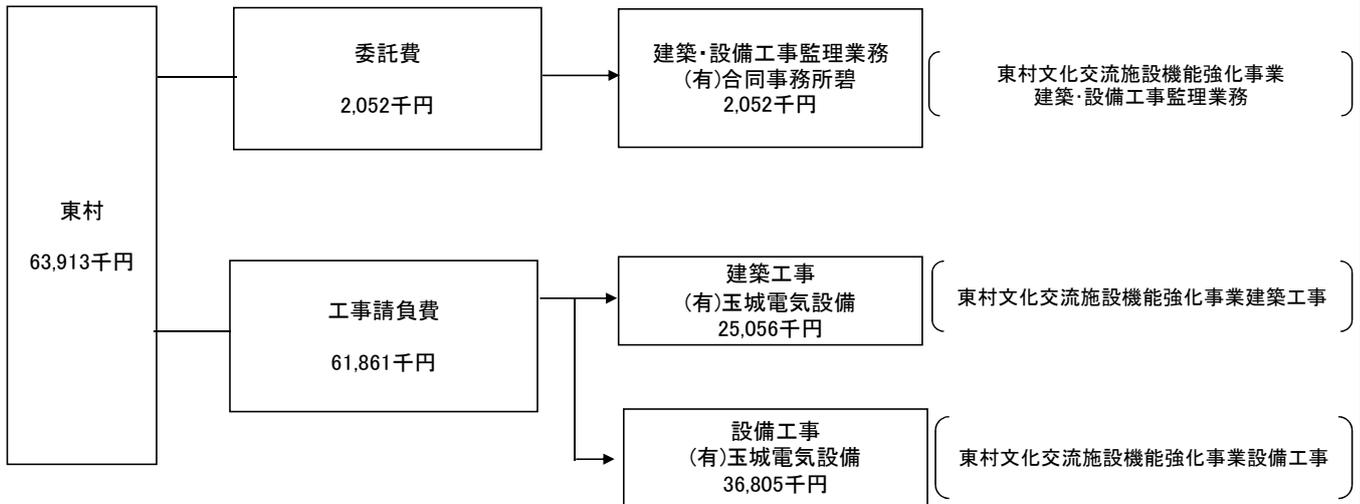
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	施設の老朽化の状況と、その事によって生じている支障について検証を行い、村民がより快適且つ安全に施設を利用できるよう留意した。 照明、音響、映写スクリーン等の設備を充実させ、より質の高い演出が行えるよう機能強化を図った。	機能強化により多機能・高機能になっても、利用者にとって扱いが難しくならないよう配慮したい。 文化継承等に関する取組みが地域で親しみやすく身近に感じれる環境づくりが推進できるよう検討する。

今後の取り組み方針

村出身者等を中心に民謡ライブの開催や地元民謡愛好会等の文化芸能団による舞台練習及び発表の場として利用促進を図り、この他にもプロによる音楽鑑賞会等も実施し、村民の文化芸能活動等の振興及び保全に繋がるよう取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
63,913	63,913	51,130	12,783	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は、指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○工事の業者選定は、指名競争入札により3回入札を試みたが不調となり、揭示金額が最低であった2社と交渉を行ない、地方自治法に基づく随意契約を締結しており、妥当であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	